1か　ダニエル

ダニ 1:8〜9　ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。神は宦官の長に、ダニエルを愛しいつくしむ心を与えられた。

1. ダニエルは心を定めて、決断しました（ダニ 1:8〜9）

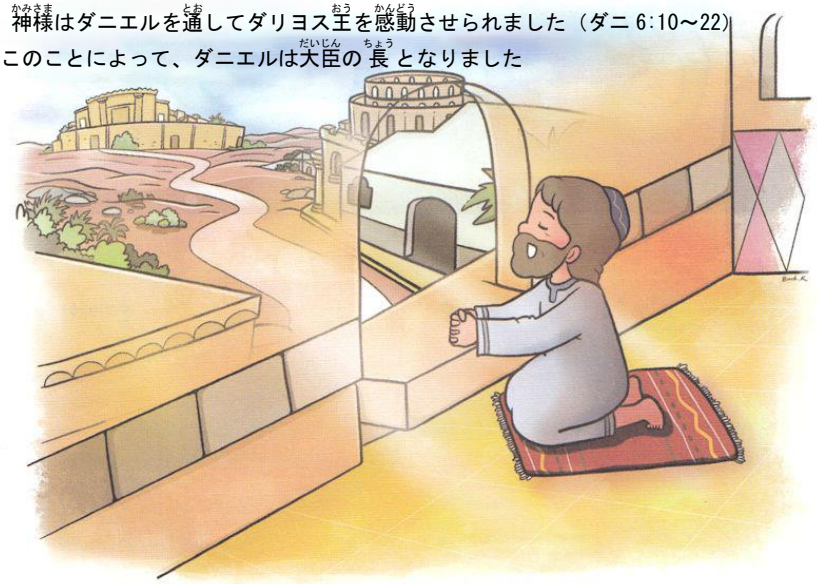
1）ダニエルは理由を知る者でした
2）ダニエルは理由がない者でした
3）ダニエルは他の理由を持った者でした

2. ダニエルには神様がくださった力がありました

1）ダニエルは心を定めるほど力がありました（ダニ 1:8〜9）
2）ダニエルは、死の危機の前でも、いつものように祈りをして、やめることはありませんでした（ダニ 6:10）
3）ダニエルは、神様が生きておられることをあかしする証人になりました（ダニ 6:20、22）

3. 神様はダニエルに働かれました

1）神様がダニエルにネブカデネザル王の夢を解き明かすようにされました（ダニ 2:1〜49）
このことによって、ダニエルは知者の長官になりました
2）神様がダニエルにベルシャツァル王の前にあらわれた文章を解き明かすようにされました（ダニ 5:1〜29）このことによって、ダニエルは大臣となりました
3）神様はダニエルを通してダリヨス王を感動させられました（ダニ 6:10〜22）
このことによって、ダニエルは大臣の長となりました



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

06
聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

2か　シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ

ダニ 3:8～24　また彼の軍隊の中の力強い者たちに、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを縛って、火の燃える炉に投げ込めと命じた。そこで、この人たちは、上着や下着やかぶり物の衣服を着たまま縛られて、火の燃える炉の中に投げ込まれた。王の命令がきびしく、炉がはなはだ熱かったので、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを連れて来た者たちは、その火炎に焼き殺された。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの三人は、縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。そのとき、ネブカデネザル王は驚き、急いで立ち上がり、その顧問たちに尋ねて言った。「私たちは三人の者を縛って火の中に投げ込んだのではなかったか。」彼らは王に答えて言った。「王さま。そのとおりでございます。」（20～24）

1. イスラエルの滅亡の理由は世界福音化の契約をのがしたからでした

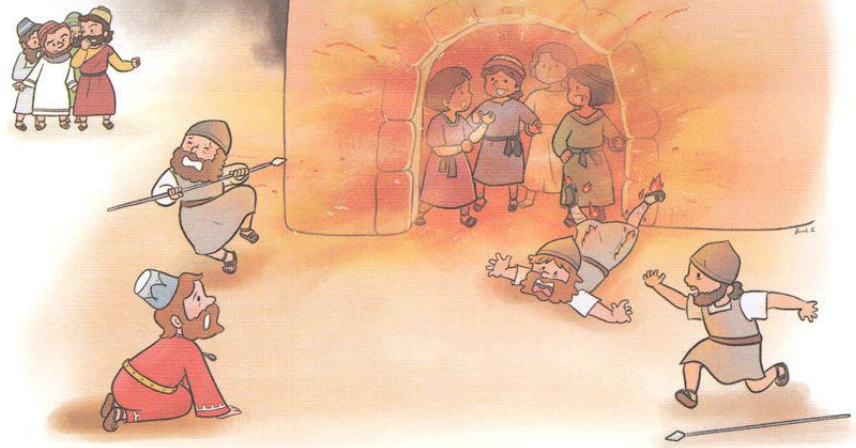
1）福音を逃したイスラエルでした（イザ 7:14）
2）伝道を知らないイスラエルでした（イザ 6:1～13）
3）宣教を逃したイスラエルでした（イザ 60:1～22）

2. イスラエルにわざわい時代が来ました

1）すべての民がエジプトの奴隷になりました（出 3:1～10）
2）イスラエルの国はペリシテと続けて戦争するようになりました（Ⅰサム 17:1～47）
3）すべての民がバビロンの捕虜になりました（イザ 6:1～13）

3. 捕虜として捕まえられていった３人の青年を通して世界福音化の機会が来ました（ダニ 3:8～24）

1）３人の青年はネブカデネザルの偶像をおがまなければならない危機に会いました（ダニ 3:1～7）
2）３人の青年は、決断して王の命令を拒否しました（ダニ 3:8～18）
3）３人の青年は、火の中に入った Remnant でしたが
そのことによって、神様が生きておられることをあかししました（ダニ 3:19～30）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

13

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

エステルが歩んだ契約の旅程

こんにちは。私はエステルです。先月は、世界レムナント大会を通して
C.V.D.I.Pの答えを確認しましたね。よくわかりましたか。
いちど、私の契約の旅程を詳しく見て、参考にしてください。

01. アハシュエロス王はなぜ新しい王妃を選んだのでしょう

ペルシヤのアハシュエロス王は、ギリシヤとの戦争の準備のために、６か月間、宴会をしました。（エス１章）最後の日、王は王妃の美しさを自慢しようと、宴会に来るよう王妃に命じたのですが、王妃ワシュティは、それをことわりました。それでは、戦争のための志気が落ちてしまうと、王はとても怒って、王妃ワシュティを王妃の位から降ろす事件が起きました（エス 1:10～22）。

B.C.484-481年アハシュエロス王は、アテネとスパルタ中心の連合軍と戦いました。彼は、最後にプラタイアの戦いで負けて戻ります。

時間が過ぎて、アハシュエロス王は孤独で疲れた状態になりました。彼はワシュティを王妃の位から降ろしたことを後悔しました（エス 2:1）。これに対し危機感をもった大臣たちは王に新しい王妃を選ぶよう進言したのでした。

02.　エステルは王妃になるためにどんな準備をしましたか

エステルは、王宮で働いていた親戚のモルデカイの家で育ちました。エステルが王妃として選ばれるための準備期間は１年しかありませんでした。モルデカイとエステルは、１年間、どんな準備をしたのでしょうか。たしかにユダヤ人がバビロンの捕虜になった理由と神殿が破壊された理由を知っていました。モルデカイは、エステルに自分がユダヤ人であることを話してはならないと言いました（エス 2:10）。エステルは王妃になったことには神様の計画があることを知っていたからです（エス 4:14）。

03. エステルが福音のために過ごした王妃の生活はどうだったのでしょうか

聖書エステル５章２節を見れば、エステルが王に非常に愛されたことがわかります。当時ペルシヤでは、王とあらかじめ約束していない者が、自分から王の前に出る時は、王を護衛する近衛兵によって殺されるようになっていました。そのとき、王が金の笏を差し伸ばす時だけ、死をまぬがれることができました（エス 4:11）。

そのような面で見るとき、エステルは前の王妃ワシュティのように、自分の思うとおりに生きたのではなく、いろいろな管理をよくして、人間関係もよかったと知ることができます。

04. エステルはどんな祈りをしましたか

ユダヤ人に危機がきたとき、エステルはモルデカイにペルシヤの首都シュシャンにいるユダヤ人を集めて、自分のために３日間断食をして祈ってくださいと言い、自分も３日間、断食祈りをすると言いました（エス 4:16）。

エステル 5-7 章を見ると、エステルの祈りはとても具体的であり、計画性があったということがわかります。

1) 王が金の笏を差し伸ばすだろう（エス 5:2）
2) 王のための宴会をして、そこに王とハマンを招く（エス 5:4）
3) 次の日、王とハマンをもう一度招く（エス 5:8）
4) そのとき、王にすべてのことを話して（エス 7:3-4）そして、敵が「悪いハマン」であることを話す（エス 7:6）

05.　エステルが残した作品はなんでしたか

エステルの後、エズラ、ネヘミヤのような人たちの第２次、第３次捕虜の帰還がありました。もしエステルが契約の旅程の中で準備されなかったならば、捕虜の帰還はもちろん、エルサレムのユダヤ人にも大きな危機が訪れたでしょう。エステルは、キリストの救いを成し遂げる最高の契約の旅程を歩みました。

また、エステルを通して、プリムの日という祭りができました。この祭りのとき、外国人であってもユダヤ人になることができました（エス 8:17）。
伝道と宣教の作品を残したのです。

私たちの生活に適用しよう！

1．エステルと私のちがいを書いてみよう。そして、エステルよりすぐれた点を書きましょう。

2．私のC.V.D.I.Pの答えはなんでしょうか。エステルを参考に思いつくまま書いてみましょう。

3か　エステル

エス 4:15〜16　エステルはモルデカイに返事を送って言った。「行って、シュシャンにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとい法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならないのでしたら、死にます。」

1. イスラエル絶滅の危機

1）エジプトの王パロはイスラエルに男の子が生まれたらすべて殺すように命令しました（出 1:1〜22）
2）神様はモーセを通してイスラエルの民が出エジプトする備えをされました（出 3:1〜10）
3）神様の前で決断したエステルを通して、ユダヤ民族が救われました（エス 4:7〜15）

2. 神様はエステルを通してイスラエル民族を救われました

1）エステルがアハシュエロス王の王妃になりました（エス 2:1〜18）
2）エステルのいとこモルデカイは、アハシュエロス王の忠実な臣下でした
彼は王のいのちを救いました（エス 2:19〜23）
3）王の臣下のハマンは、モルデカイとイスラエル民族であるユダヤ人を憎んで、陰謀をたくらみました（エス 3:7〜15）
4）神様はイスラエル民族を生かそうと、エステルのいのちをかけた献身を決断するようにされました（エス 4:1〜16）

3. イスラエル民族が死の危機から救われた歴史的な証拠が「プリムの日」です

1）地方にいたすべてのユダヤ人に「プリムの日を守るように」王の調書が伝えられました（エス 9:20）
2）その日は、「アダルの月の十四日」でした　（エス 9:21）
3）プリムの日については歴史の書物に記録されています（エス 9:32）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

20

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

4か 出バビロン

イザ6:13　そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や樫の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。

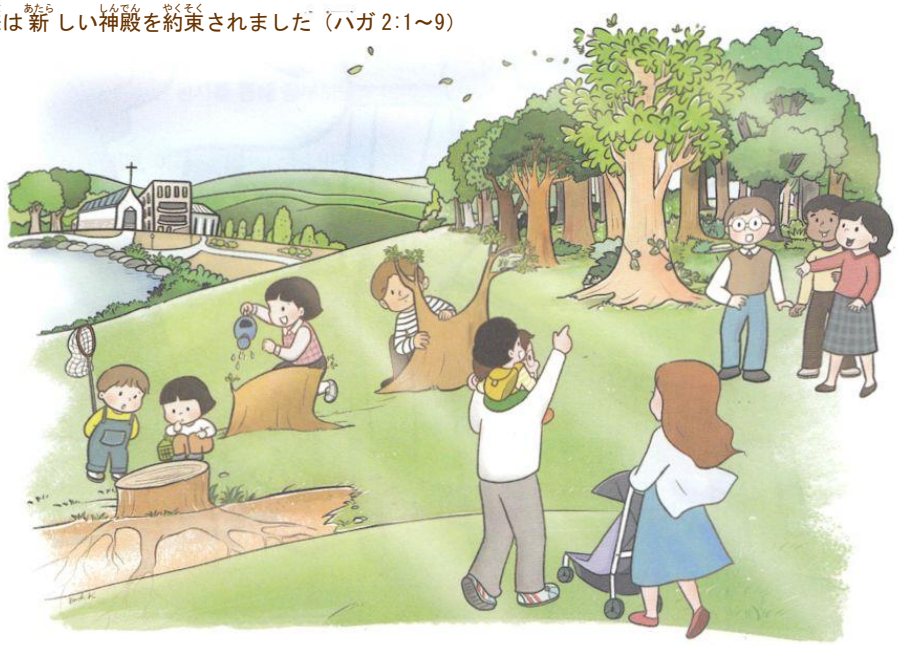
1. 出バビロンには神様の計画があります

1）神様が始められました（イザ6:1～13）
2）神様が回復の約束をくださいました（イザ7:14）
3）神様が答えをくださいました（イザ40:6～31）
4）神様がしるしをくださいました（イザ43:18～21）
5）神様が語られたRemnant運動です（イザ60:1～22）
6）神様が繰り広げられる見張り人運動です（イザ62:6～12）

2. 繰り返されるわざわいを食い止めることです

1）福音運動です
2）伝道運動です
3）宣教運動です

3. 神様は新しい神殿を約束されました（ハガ2:1～9）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

27 聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば